

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	シェフィールド大学 2022 年夏季 短期留学
------------	-------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	18,289 円	
図書費	0 円	研修費用に含まれていたため不明。
学用品費	0 円	研修費用に含まれていたため不明。
携帯・インターネット費	24,647 円	レンタル Wi-Fi
現地通学費	9690 円	(大学まで 約40分)
教養娯楽費	43234 円	ホテル代、交通費、チケット代等
被服費	11510 円	
雑費	15093 円	おやつ代等
その他	53136 円	例:お土産代
その他	円	例:
合計	176,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
レンタル Wi-Fi を日本で借りました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
爪切り、ムヒ、ネックピロー

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前学習で得た情報や、自分で留学前にインターネットなどで調べた。大切なものはウエストポーチに入れて絶対に肌身離さないようにしたこと。友達と荷物を見張り合ったこと。犯罪に巻き込まれたことはなかったが、怪しい人に話しかけられたことはあった。その際、無視はしなかったが、うまく言いくめたりして相手をあきらめさせたりして対処した。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
レンタル Wi-Fi は、充電が必須で、途中で切れてしまうことが何度あった。大学の Wi-Fi が使えたので、学校に行っているときは Wi-Fi の電源を切って節約した。また、ホームステイ先で Wi-Fi を使わせていただいた。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮 ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ホームステイは、ホストファミリーとお話することがとても重要になるので、お話しする内容を少し考えておくと良いと思う。私はあまり考えていなくて、英語も話せなかったのが、会話が止まってしまうことが最初は多かった。私がホストファミリーと話した内容は、その日学校であったことを話したり、週末に旅行に行く計画を立てた時にホテルや電車、チケットの予約やおすすめの観光地、ホームページなどを尋ねた。また、ホストファミリーには小さな子どもがいたのでその子と積極的に遊んだりした。イギリスの現地の人々はとてもいい人たちで、とても過ごしやすい気候でもあり、不便さはあまり感じなかった。ただ、電車やバスは時刻に遅れることが多いので、時間に余裕を持った行動が大切であると感じた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容

文法中心の授業。文法を学びながら、教科書のトピックについてお互いに考えを共有した。スピーキング、リスニング、文法の三つの要素を同時に学習することができた上に、クラスメイトと雑談などもできた。
ソーシャルイングリッシュ。文法中心の授業よりも会話中心の授業だった。イギリスの文化を学びながら、自国との違いを学習し、お互いにどんな違いがあるかを話合った。また、日常的な行為をロールプレイングすることで、日常会話の習得にも役立った。

課外プログラムについて

参加の申し込みはしたが、授業時間と課外活動の時間が合わず、活動できなかった。

滞在先・現地での生活に関すること

朝晩は非常に冷え込むので、上着や暖かい服装を何着か持って行くといい。洗濯も毎日してくれる家庭は少ないと思うので、下着は自分で手洗いして干すなど工夫も必要であると感じた。もし万が一足りなくなったら買うという選択肢もある。安いものも多いが、その分すぐへたってしまうので、現地を買って現地で捨ててくるというやり方もある。交通費はできるだけ安く済ませられる方法を現地の人や、先に滞在している人に聞くと良い。シェフィールドは、シェフィールド大学の学生証があれば市内であればどこへでも1ポンドでバスに乗れた。トラムの駅の間隔はかなり短いところもあったので、歩いて隣の駅まで行くことも可能であった。公共交通機関を使ったとき、自分がどこを走っているのか、どこへ行けばいいのかわからなくなることが多かったが、その時はグーグルマップをよく見ながら行動すると良い。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、留學を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

イギリスを選んだ理由は、プリティッシュイングリッシュを学んでみたかったから。また、新型コロナウイルスへの対応について、私は一度もワクチンを打っていないだったので、打っていないでも渡航できたという面も理由の一つである。通った学校は語学学校だったので、イギリス人の先生と、他の国からの生徒が進めるという形ではあったが、他国の文化にも触れることができたことはとても良かった。ホームステイなので、イギリスの言語はその家庭から学ぶことができた。しかし、イギリス英語と言っても、なまりがかなりあり、聞き取りづらいときもあった。だが、現地の人々はとても私たちの文化を尊重してくれることが多いし、あまり話せなくても、わかりやすい英語で言い直してくれたり、ゆっくり話してくれたりして親切にしてくれた。週末には旅行に同じプログラムの友達と行ったが、その計画のアドバイスもくれた。勉強に来ているのに旅行に行き遊んでいいのかと思った時もあったが、ホテルの予約、現地の店員とのちょっとした会話、ガイドの人の話を聞いたりすることはとても勉強になったし、良い経験になったと思う。なかなか海外に行けることではないので、行った先の現地でやりたいことをやるべきであると考えている。ホテルの予約や、チェックイン、チェックアウトは、私は今まであまり自分でやったことがなかったし、どのホテルも良いとは限らないので、安全そうなところを調べて選んだりして、前よりも自主的になったと感じる。

私はほとんど英会話ができないで渡航し、最初は周りの人のできに圧倒され、気分が落ち込んだ時もあった。しかし、単語をただ並べるだけでも大体伝わるのが分かったし、文法を間違えても、何回も言い直したりして言えば一生懸命聞こうとしてくれるので、恥ずかしがらずにたくさん話すべきだと気づいた。単語がわからないときは簡単な例を出すなどすると相手が理解してそれを言い換えてくれたりもする。とにかく表現しようとするのが大切であることが分かった。話していくうちに最初よりは言いたいことを伝えられるようになったし、それが自信になり、話すことの楽しさへとつながった。飛躍的に英語力を上げることは三週間くらいではとても厳しいが、自信をつけたり、メンタルを鍛えたりするには最適である。全く英語ができなくてもあきらめずに挑戦してみる事が大切である。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	シェフィールド大学 2022 年夏季
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	27279 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2880 円	
現地通学費	8992 円	(大学まで 40 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	3040 円	
雑費	40000 円	お土産
その他	7840 円	例:PCR 検査
その他	46739 円	例:観光の際に生じた費用
合計	136770 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:外貨宅配 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Amazon で SIM を購入
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
洗濯ネット(洗濯物をまとめるときに便利だった)、水筒(自分は現地で買ったペットボトルを洗って代用したが水筒があったほうが便利だった)

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
現地では自分の手荷物を肌身離さず持ち続けることを意識した。シェフィールドでは、自分は巻き込まれてはいないものの、スリをして男性が逃走する現場を目撃したこともあったので、どの場所でも油断しないように気を付けていた。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

ホームステイ先で教えてもらった WiFi はたまに接続が悪い時があったものの、自分が持参した SIM を使えば特に問題はなかった。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮 ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私のホームステイ先では、同じプログラムの方と3階のフロアをすべて使わせていただき、お風呂とトイレと洗面所は2人で共用だったものの、部屋も広く特に窮屈に感じることはなかった。ただ、朝食は毎朝決まった時間にホストファミリーが用意してくれた上、夕食も私たちが帰宅する時間に合わせて用意してくれたのでとても助かった。料理はすべてとてもおいしかった。イギリスの夕食は早めで、5時半から6時の間に食べるが多かった。また、シャワーを浴びるときにかなり大きな音がするらしく、夜の10時以降には使用を控えるように頼まれた。洗濯は週に2回といわれていたが、自分たちが外出をしたり、ホストファミリーの仕事の都合もあって結局合計で3回しか洗濯してもらえなかったの、下着類は少し多めに持って行ったほうが良いと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容

私たちが通っていた English Language Teaching Center の授業では、主に与えられた問題に対する自分の意見をグループでディスカッションすることが多く、自分のスピーキング力を間違いなく向上させることができたと思う。また、授業で扱う内容も社会問題に関してやイギリスの文化に関してが多く、終始興味深かった。

課外プログラムについて

ELTC では週末に観光地へのツアーが企画されており、自分たちだけで行くよりも安い値段で観光地へ行くことができとてもよかったと感じている。

滞在先・現地での生活に関すること

シェフィールドは、バスやトラムを使いこなすのが少し大変だが、雰囲気がとてもよく、ロンドンに比べたら怖い人もあまりおらず、過ごしやすい場所だと思う。また、ホームステイという経験は、自分の英語力の向上につながるだけでなく、イギリスの文化を間近で感じることができるのでぜひ選択してほしいと思う。もちろん授業やお店の人の英語での交流も印象的だが、一番濃く記憶に残っているのはホストファミリーとの日々の会話や生活だ。その日のお互いの出来事を語り合ったり、私たちが少し遠出する予定のある時にはそのおすすめ場所を教えてくれたり、交わした会話全てが宝物だ。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がこのプログラムを選んだ大きな理由は、本プログラムがホームステイを実施するからである。私は英語力の向上のために留学をすることしかねてから興味があった。そこでプログラムを選択するにあたって、寮生活でももちろん得られるものはあると思うが、どうせ留学に行くのならば、ただ学校で英語を学ぶだけでなく、実際に外国の文化を一番身近で感じてみたいと考えた。結果私は一生忘れないであろうとても貴重な体験をすることができたと強く確信している。もちろん留学するとなると不安もあった。実際に現地ではいくつかの小さなハプニングに巻き込まれたこともあった。しかしそんな経験も自分を成長させてくれるきっかけになると思うし、何よりこのプログラムで得たものは計り知れない。留学に行くかもし迷っていたらぜひ行く決断をしてほしい。現地についての下調べや準備を怠ることなく行えば充実した留学生活を送ることができると思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	シェフィールド大学 2022 年夏季
------------	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	5 万 円	
図書費	1000 円	
学用品費	500 円	
携帯・インターネット費	2 万 円	
現地通学費	4000 円	(大学まで 20 分)
教養娯楽費	2 万 円	
被服費	1 万 円	
雑費	3 万 円	
その他	10 万 円	例: 観光にての交通費など
その他	円	例:
合計	23 万 5 千 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
申請に意外と時間がかかりました
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 銀行でポンドに変換しました その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
自分が契約している携帯会社でポケット Wi-Fi の貸し出しがあり借りました
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
パッキング袋 ファブリーズ

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
特に危険なことはなかったが置き引きなどに気を付け友達に荷物を見てもらうなどしました
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)
大学内の回線などはよかったが持っていたポケット Wi-Fi がつながりにくかった

滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input type="checkbox"/> 学生寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホームステイのほうが家族と話す機会が多く毎日沢山会話することになるのでおすすめします。シャワーが弱かったりや洗濯が週に一回だけなど家庭によってあるので考慮していった方がいい。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
留学先での学習で良かった授業名や内容
発音の授業が自分にとってはとても勉強になった。日本でももちろん学ぶことはできるが文法授業はあまりなく話す授業が多かったため発音がしっかりしていないと会話を円滑に進められないため発音の授業が役に立った。
課外プログラムについて
課外プログラムがとても豊富で値段もとても安いのでよかった。私はフットボールのプログラムに参加したのだが運動を通して現地の人と交流できたので良かった。
滞在先・現地での生活に関すること
物価が日本より高いのでお金をとても使ってしまう。また交通機関が日本と違って時間通りに来ないのでそれを考慮に入れ計画を立てた方がいい。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

<p>選んだ理由としては短期留学であるためなるべく多く会話したいと思い寮よりもホームステイにしたいなと思いホームステイなのがこのプログラムであったためというのとイギリスが舞台の映画で好きなものが多いイギリスに行きたいなと思っていたためです。</p> <p>留学先での生活においては事前学習で治安が悪いやご飯があまりおいしくないと言われていたがそんなことはなく人々はフレンドリーでご飯も美味しく満足できた。しかしロンドンなどの都市部では置き引きやスリに気を付けた方がいいと思う。差別などもあるかなと思っていたのだがアジア人だからと言って差別はなかったし英語で会話に詰まった時にも話をしっかり聞いてくれたしジェスチャーや単語から推測してくれたりなどと、多くの民族がいるからこそその受け入れ態勢があるなと感じた。</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	シェフィールド大学 2022 夏季
-----	-------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3000 円	giffgaff SIM 100GB 使用
現地通学費	7000 円	(大学まで 45 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	10000 円	
雑費	10000 円	
その他	70000 円	例: サッカー観戦、ロンドンやヨーク観光など
その他	30000 円	例: お土産代
合計	約200,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になかった
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で事前に換金所でポンドを用意 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
格安 SIM を事前に頼んでおいて、家に届いたら出発の前日にプランを選び契約した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本の夏と違い気温がかなり低めのため長袖のパーカーやロンTなどが役に立った。飛行機は 13 時間と長時間フライトだったため首を痛めないようにネックピローを持っていったがそれも役に立った。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
盗難被害に遭うことはなかった。リュックで街中を歩く事が多かったためこまめにチャックが開いていないか、財布などの貴重品は入っているかなどの確認をするようにしていた。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

自分が使用したSIMカードはほぼ問題なく使えた。しかし、電車に乗っている最中や地下鉄の中などは電波が使えない事があった。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input type="checkbox"/> 学生寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
ホストファミリーが出してくれる食事はどれもとても美味しかった。日本食が食べなくなった時のためにインスタント味噌汁などを持っていくと良いかもしれない。また、滞在初日にホームステイ先のハウスルールを確認すると良いと思う。自分のホームステイ先は22時以降はシャワーは使っては駄目などというルールがあった。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
普段日本にいて家語を話す機会というのはなかなか無かったが、今回のプログラムの講義では会話を軸としながら文法や単語など様々なことについて勉強できたためよかった。	
課外プログラムについて	
放課後にシェフィールド大学が企画してくれた夕食会に参加して、現地の学生さんと食事をしながら英語で会話する事ができてとても良い経験となった。	
滞在先・現地での生活に関する事	
シェフィールドは電車で一時間でマンチェスターやヨークなど色々な街に行けるのも魅力の一つだと思った。週末を使ってロンドンに行くことも出来たのでよかった。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

1、2年生の頃はコロナの影響もあり、なかなか留学という選択肢を考えることはなかったのですが、3年生になりようやく海外に行ける状況になってきたため今回このプログラムに参加しました。

現地の気候は日本と全く異なり、とても涼しく生活しやすかったです。イギリスは食事が美味しくないなどよく言われていますが、実際に行ってみると全くそんなことはなくどれも美味しい食事がかりでした。

週末は自分たちで予定を立て様々な場所に旅行に行ったのですが、前々から行きたかったマンチェスター・シティの試合を見に行く事ができ、最高の思い出を作ることが出来ました。

海外留学は日本ではなかなか味わえないグローバルな環境に身を置くことで、様々な体験する事ができるので、人生で比較的時間にゆとりのある学生の間留学をしてみることをお勧めします。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	シェフィールド大学 2022 年夏季
------------	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	35000 円	隔離期間 (5 日間) の食費も含む
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2000 円	現地で 1 か月間の SIM 契約
現地通学費	5000 円	(大学までバスで 40 分)
教養娯楽費	6000 円	観光地のパンフレット
被服費	5000 円	防寒着としてパーカーを 1 枚購入
雑費	25000 円	入場料、お土産、ツアー、嗜好品など
その他	50000 円	例: 観光交通費 (電車、バス、タクシー) 隔離期間中の交通費
その他	80000 円	例: 隔離期間中のホテル代 + PCR 検査
合計	208000 円	約半分は隔離期間中にかかった費用

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ビザは不要だった
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 地元の銀行で両替 30000 円 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
研修先で配布していたものを契約し使用 渡航前に Amazon で購入した SIM カードがあったが数日で使えなくなってしまった (データを使い切ったわけではない)。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
クロックス (機内、ホームステイ先、ホテルで使用) パスポートのコピー 防寒着 (パーカーやカーディガンなど着脱が容易なものが良い)

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
細い道や人が少ない道には入らないようにした。 貴重品とそれ以外で荷物を分け、貴重品は前掛けのカバンに入れた。 休む時は背後が壁の場所で休んだ
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)
ホームステイ先、学校ともに普通に使用できた。ビデオ会議アプリを用いても回線が落ちることはなかった。一部ホテルでは有線 LAN しかないところがある。また、使用者が多いためか快適とはいえない速度だった。スマホは地下では使えないことが多い

滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input type="checkbox"/> 学生寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
初日の内に連絡方法を確認すること 週末に出かけるときはできるだけ早くホストファミリーにつたえること

プログラム選択の参考となる点を記載してください
留学先での学習で良かった授業名や内容
イギリスの文化に関する授業
課外プログラムについて
Friday Night Dinner に参加した。いろいろな国籍の人がおり、その国や周辺国のことを聞いて勉強になった。
滞在先・現地での生活に関すること
滞在先・現地での生活は日本とあまり変わらないと感じた。ただ、現金が使えない場所が多いのでクレジットカード(タッチ決済機能があるもの)は必須だと感じた。また、電車やホテルの予約には Apple Pay が便利であると感じた。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

<p>国際社会やコロナ対策におけるイギリスの先進性と存在感に興味を持ちイギリスに行ってみたいと感じたため、シェフィールド大学を留学先に決定した。また、イギリス英語に興味があったことも留学先を決める一因となった。</p> <p>留学先では、私自身がコロナに感染したこともあり、コロナに関する考え方の違いやその対応など身をもって体験することができた。イギリスではコロナは風邪のひとつのような扱いで感染後に陰性証明やマスクの着用を要求されることはなかった。</p> <p>授業は 3,4 人のグループに分けて行われ、与えられたテーマに対して意見を交換するといった形式のものが多かった。レストランやタクシー利用を想定した授業などもあり、最終日には 1 人 5 分程度のプレゼンテーションを行った。留学前、午後の授業は選択制だと聞いていたが実際には固定制であったことが残念だった。</p> <p>私がこの留学を通して最も重要だと実感したのは自分から進んで行動することである。受け身に回ったり、選択を先延ばしたりすると決まって悪い結果となり、後悔することが多かった。今後は、自分から行動して、やるべきことは早めに行うと思った。</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	シェフィールド大学 2022 年夏季
------------	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	75000 円	お酒、水、平日昼食、土日食
図書費	0 円	プログラム費込み
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5000 円	Amazonにて購入(100GB 30日間)
現地通学費	8000 円	(大学まで30分)
教養娯楽費	37000 円	スタジアムツアー、ロンドンホテル2泊、ハリポタ
被服費	30000 円	大学パーカー、フットボールチームユニフォーム、Tシャツ×2
雑費	35000 円	フットボールチケット 2 試合 35000
その他	40000 円	例: ブリトレイルイングランドパス、トラベルカード×2、荷物預
その他	20000 円	例: お土産(キーホルダー、お菓子、紅茶など)
合計	250000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
明大サポートさんが管理していただいた為、特記することはありません。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 新宿換金所とロンドンにて(1GBP=168 円) その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
O2 を Amazon にて購入
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ブリトレイルイングランドパス(4 日分ファーストクラス利用可能フリーパス) カードしか使えないお店が多数存在(現金を多く用意する必要はなかった)

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
用意した現金は分散させ、携帯、財布はチェーンをつけるなどして防犯対策の徹底を行った。 結果盗難、犯罪には巻き込まれなかった。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

ホームステイ先では繋がらない時もあった。(ルーターの問題)事前に購入した SIM は問題なく使えたが、地下鉄や田舎を移動する際に時々圏外になった。(環境の問題)

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮 ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

夏は日本の 10 月の様に涼しく湿気が少ないため、非常に過ごしやすいです。現地の方の中には、多国籍の方や移民の方々もいます。ただ環境についてですが、毎食食がハンバーガといった食事が偏食になってしまう所や、不衛生な所がいくつか見受けられますので、そういった環境下でも生活に適應できる方にお勧めです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容

Listening や reading の他に、扱っている分野に対して皆でディベートを行ったりしたが、都心、郊外についての話や募金についての話といった扱いやすい分野であったため、良かった。

課外プログラムについて

Conversation club と dinner party のみ参加したが、楽しかった。注意する点としては、シェフィールドの方々と時間を過ごすのではなく、本プログラム(ELTC)スタッフの方々と一緒に過ごす。

滞在先・現地での生活に関すること

バスは先払いで学生割引が適用されます。ただ頻繁に遅刻するので、余裕をもった行動をすることが大事です。鉄道は突然運休になったり、ストライキといった日本では考えられないケースがあるので、適度に交通情報をチェックすることが大事です。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、留學を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

ハリーポッターやフットボールが好きな点からイギリスには前から興味を持っており、旅行という目的ではなく、留學という形で言語や異文化を学びたいという思い、イギリスのシェフィールド大学プロジェクトを選びました。私は生まれてから日本に出たことなく、今回が初めての海外という事もあり緊張していましたが、ホストファミリーをはじめ、様々な現地の方々から何か支えてもらい、大きなトラブルもなく過ごすことができました。語学授業だけでなく、パブに行って多国籍の方々や交流したり、休日にリバプールで現地の方々やビートルズソングを歌ったり、マンチェスターでプレミアリーグを観戦したり、ロンドンで観光したりと、中々体験できない事を行えたことがとても幸せでした。そして英語が苦手であり、良いイメージを持っていない私が、もっと聞けて話せるようになりたいと思えるような経験をする事ができました。留學するにあたって金銭面では大きな負担を抱えることとなりますが、異文化に触れることは今後の夢や未来の選択肢が増え、必ずプラスになる経験です。少しでも興味があるのなら参加することをお勧めします。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	シェフィールド大学 2022 年夏季
------------	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	円	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	26000	円	平日昼休みの食事、授業後のカフェ、土日の観光地での昼、夜
図書費	0	円	初日に教科書が配布されました。
学用品費	0	円	パソコン、iPad を持参しました。どちらか一方だけでよかったです。
携帯・インターネット費	4000	円	Amazon で現地 Sim を購入しました。15GB あれば十分だと思います。
現地通学費	5000	円	(大学まで40分)バスで学生証を提示すれば毎回 1 ポンドで乗れました。
教養娯楽費	80000	円	London で 2 泊 3 日観光した際に 7 万円程かかりました。(シェフィールドより物価高めです)
被服費	25000	円	日本の秋～冬くらい寒かったので服を沢山買ってしまいました。
雑費		円	
その他	60000	円	例:お土産(コスメ、観光地のグッズ、お菓子、紅茶、ティペアなど)
その他		円	例:
合計	200000	円	他の方も 15~25 万円程使っていたと思います

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
パスポートの期限が迫っていることに気付くのが遅く、慌てて更新に行きました。ビザは不要でした。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で 3 万円分をポンドに両替して行きました。(カード決済が主流だったので1万円ほどでもよかったです) その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Amazon で O2 という会社の Sim カード(20GB)を購入しました。機内で Sim を取り換えれば、着いた時には現地ですぐに使えました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
海外の電圧にも対応したヘアアイロンが便利でした。(SALONIA) スーパーなどでスプーンやフォークが貰えないので、スプーンや割りばしなどがあると便利だと思いました。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
危険地域はホストファミリーに教えてもらいました。特にロンドン観光に自分達だけで行く際に、行きたい場所を事前に伝えて、夜に行かないほうが良い場所などを教えてもらいました。またシェフィールドでも、バスを待っている時にお酒で酔った現地の方に話しかけられて怖い思いをしました。その際は、その方の友人が助けてくれたのでどうにかりましたが、夜の行動は注意が必要だと感じました。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

問題なく接続できました。時々3G 回線になって、遅いなど感じることはありました。学校の Wi-Fi は無料で使えます。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input type="checkbox"/> 学生寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
ホストファミリーが健康志向の家庭だったため、毎日手作りの美味しい食事を頂いていました。大学に提出した事前アンケートを見て好き嫌いに配慮してくれたので、正直に回答しておくのがいいと思います。食事の時間に家族と話すのが、学校と違った日常会話の勉強になってすごくありがたかったです。現地のニュースにも詳しくなれて楽しい時間でした。拙い英語でも汲み取ってくれるので、積極的に話すことをおすすめします。また毎日学校に行っている間にベッドメイキングをしてくれたので、部屋は散らかさないうちに気を付けていました。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
午前中のクラス別授業。韓国人、サウジアラビア人、ウクライナ人、他大の日本人を含めて 15 人いました。テーブルごとにディスカッションする場面がすごく多かったです。海外生の英語力の高さに刺激を受けました。	
課外プログラムについて	
参加しませんでした。観光地へのツアーは、自分達で行くよりかなり安く行けたのでおすすめです。	
滞在先・現地での生活に関すること	
イギリス英語に違和感はほとんどなかったです。個人的に、学校よりもホームステイ先で英語力が向上したので、ホームステイのあるプログラムをおすすめします。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、留學を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

学部 4 年で卒業間近でしたが、どうしても留學を経験したかったため、親や研究室の教授に相談して行かせてもらいました。このプログラムを選んだ理由は、正直に言うと高い語学力がなくても大丈夫だったこと、ヨーロッパに行きたかったこと、英語が好きだから、でした。英語に抵抗がなければ、楽しく過ごすことが出来ると思います。また私と同じように 4 年生で留學を迷っている人がいたら、ぜひ行ってほしいです。私は就活を終えてからの留學でしたが、卒業後のキャリアや自己研鑽に対するのマインドがすごく変わった気がします。何よりもポジティブ精神がつかえました。笑 他国からの留學生やホストファミリーの考え方、生活など、刺激になるものがたくさんありました。また明治の学生の皆さんも、勉強熱心だったり行動力が高かったり、仲良くなっていくにつれて感化される場面がたくさんあったので、このプログラムで出会えて本当に良かったと感じました。これを見ている皆さんも、少しでも興味があったらぜひ挑戦してください！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	シェフィールド大学 2022 年夏季
------------	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	60000 円	
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	20000 円	
現地通学費	10000 円	(大学まで 60 分)
教養娯楽費	35000 円	
被服費	15000 円	
雑費	60000 円	お土産、
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	20 万 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 2, 3万円ほど日本で両替して持って行った その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
最初 2 週間はそのままその後現地の SIM に変えた ネット通信だけのプランにしていたので電話が出来ず困った。 また山奥に行った時は電波が悪く調べ物が出来ない時があった。(ポケット Wi-Fi だった人に聞いたら使えた様子だった)
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
その場で服などを何個か調達しようと思っていたが体格が違うことが多いから日本から持っていく方がおすすめ。また自分はネックレスを失くしてしまったのでお気に入りの物も持っていかない方がいいと思います。 薬やティッシュ等の衛生用品などは日本から持って行って助かりました。安いとその分質がよくなかったり、薬はとても高かったと聞いたので事前準備しておいてよかったと思いました。 後はホームステイの場合は家にもよると思いますが、洗濯が多くても週に 1 回しか無い所がほとんどなのでリセッシュとか持って行っていたらもっと快適に過ごせたと思います。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
どこかに出かける時はホストファミリーに行動日程を見せて相談していた。ホテルに泊まる時はホテルの位置まで確認してもらい治安の問題などもあり変更をして安全に過ごせた。 自分はお財布・携帯はいつも決まったところに入れて自分から肩身離さず持っていた。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

電話のプランがなかったため必要になった時に困った。一緒に研修に行っていた人に借りて何とかあったが本当にもしもの為に現地の電話はもっておくべきだった。
 Wi-Fiは学校内は学校のWi-Fiがあったのでそれに繋げていた。(学校がとても広いので学校付近の一角ではどこでも使えた)

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input type="checkbox"/> 学生寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
お互いに相手を受け入れる心を持って過ごす。頑張ってみてそれでもできない場合は無理に我慢し過ぎず話し合う。思いやりを持ち合って生活するのがいいと思います。あとは相手の話をしっかりと聞く、コミュニケーションをたくさん取る。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
午前授業のすべてが少人数だった為コミュニケーションも取りやすく仲良くなった。 またグループワークが多く楽しい雰囲気であったため打ち解けやすかった。	
課外プログラムについて	
滞在先・現地での生活に関すること	
イギリスはご飯がおいしくないという噂がありますがその様な事は全く無いのでそこで迷っている人がもいるなら安心してください。寮の方が自由な事が多いです。自らいろんなところに行って行動したい派かホストファミリー等との交流をしたい派か等様々な事を吟味して決めるといいと思います。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、留學を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は元々漠然と留学に行きたいという志があり、国や学校にはこだわりはありませんでした。そんな私が今回なぜこのプログラムに応募したかというそれはホームステイだったからです。ホームステイ先ではより現地に密着した文化や生活が学べると思ったからです。そして今回の約3週間でそのことをとても実感しました。一緒にニュースを見たり、イギリスの事について色々教えてくれました。またその様な場面で日本はどうなのか聞かれることが多かった印象があります。なので、これから留学を目指す人は語学を学ぶことはもちろんですが日本の事も知っておく必要があると思います。(授業でも様々な国の人とそれぞれの文化を紹介することがあり、そこでの発言がその人たちにとっての日本の印象になるため、より大事だと思います。)

また少しでも気になったら行動してみるべきだと思います。私は一人旅やミュージカル等日本でもやって見たかったことを沢山やりました。毎日が刺激的でとても楽しく尚且つ多くの事を学べました。期間が短いと余計にどれだけ濃いものにできるかは自分次第だと思うので多くの体験と経験を無理にでもした方がよいかと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	シェフィールド大学 2022 夏季
-----	-------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費	1000 円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	4000 円	
現地通学費	4000 円	(大学まで 40分)
教養娯楽費	50000 円	
被服費	円	
雑費	40000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	129000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で外貨両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
日本で giffgaff を通して SIM カードを準備した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
1 日を通しての気温差があるため脱ぎ着できる上着など。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストファミリーの助言に基づいた防犯対策をした。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

家には自由に使える WiFi が完備されていた。大学ではネットが繋がりにくかった。電車や地下鉄の中でもネットが繋がりにくかった。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input type="checkbox"/> 学生寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
常にホストファミリーに何かしていただいたときに感謝の言葉を述べること。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
イギリス文化について学んだ後、互いの国の文化の違いについて話し合ったこと。乗り物やマナー、歴史などの違いについて学び合うことができた。	
課外プログラムについて	
大学のプログラムとして放課後に交流会や週末にバスツアーなどが設けられていた点が良かった。	
滞在先・現地での生活に関すること	
イギリスは食物アレルギー、ヴィーガン対応の点で優れていた。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

留学前にホームステイ先の方と連絡を取りハウスルールを確認すると良い。留学することで留学先の国についてだけではなくその国に留学している人の国についても学ぶことができる。短期留学は本当に短い期間なので1日1日を大切に過ごす方が良い。スポーツ観戦や観劇は周りの観客と一体となることが出来るためおすすめである。授業中やホストファミリーに日本について聞かれることが多いので日本についての情報も集めておくことが大切。ホストファミリーに対してやバスの運転手、助けて貰った人などに常に感謝の言葉を伝えることがとても大切である。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	The University of Sheffield, English Language Teaching Centre (ELTC) University English International Summer School Programme 2022
-----	--

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	6000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	
現地通学費	5000 円	(大学まで 40 分)
教養娯楽費	60000 円	
被服費	3000 円	
雑費	10000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	84000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で 30000 円分現地の現金に変えた。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
プリペイド SIM カードを用意した。(1 か月で 12GB のものでちょうど良かった。)
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
<p>準備して良かったもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水筒(現地で水を買くと 200 円~300 円はするため、かなりの節約になった。) ・カーディガンやウィンドブレーカーなどの防寒着。(気温が1日の中でも変化しやすいので脱ぎ着できるものがあると調節しやすい。) ・マスク ・海外用ドライヤー <p>準備したほうが良かったもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割り箸やフォーク、スプーン(ほとんどのお店では置いていなかった。) ・ハンドバッグ(週末の旅行などでリュックだと安全面や効率の面で適していなかった。)

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
--

<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（問題の内容や相談した人等： ） 特記事項：
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
外務省海外安全ホームページの最新情報のメールを確認して情報収集した。防犯対策については、リュックは常に前で持ち、肌身離さないようにした。また、現金やクレジットカードは 2 つの財布に分けて持つようにした。盗難やほかの犯罪に巻き込まれたことはなかったが、万が一のことを考えて常に行動することの大切さを身にしみて感じた。
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 （例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）
外や室内で接続が悪くなることはなかった。また、家と学校では WIFI を使わせてもらっていた。シェフィールドからロンドンに行くときに、電車内で接続が時々切れた。

滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input type="checkbox"/> 学生寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホームステイ先はイギリス人のご夫婦で、本当に優しく気さくに接してくださった。夕食は決まった時間に全員そろって食べていた。いつもホストファミリーがお皿にある料理や食材について、英語での言い方やイギリスの伝統的な料理の名称を教えてくれた時間がとても楽しかった。私を含め 2 人で滞在させてもらっていたが、部屋は 1 人ずつだったため、快適に過ごすことができた。私のように、日本人が複数で滞在するという方は、ホームステイ中はなるべく日本語を使わないなどルールを決めるのもイギリスで生活するうえで 1 つの方法だと思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
留学先での学習で良かった授業名や内容
Academic Skills 毎週午前中は Language Development と呼ばれるリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングを包括的に取り入れた授業があり、TED talk のテキストを使用した、グループ活動によるディスカッションの時間が多いものだった。 午後は Option Class と言って自分たちでいくつかの授業から選択できるのだが、私はこの Academic Skills を選んだ。この授業では、主にイギリスの大学機関について学んだ。最初はイギリスの大学の仕組み(学位や学部、成績の付け方など)について学び、そこからは日本や他国の大学との類似点や相違点についてディスカッションをした。Academic という授業の名の通り、学術的な単語が多く出てきて自分の知識が大いに増えた上、日本とイギリスの大学機関の違いを知ることで広い見識を身に着けることができたので、とてもためになった授業だった。
課外プログラムについて
毎週月曜日になると、1 週間分の課外プログラム一覧がメールで送られてきたため、参加したい場合はオンライン上で予約をするという形だった。内容としては、放課後は Conversation Club と呼ばれる英語でシェフィールド大学の大学生と話すことができるものやボードゲーム、バスケットボールやサッカーなどのスポーツ、夕食会などが企画されていた。週末には、ヨークやノッティンガムといったシェフィールドから少し離れた観光地への日帰り旅行にバスで行くツアーがあり、自分たちで行くよりも安く参加できる。私は、放課後の Game に参加し、シェフィールド大学の学生と日本の他大学の学生とイギリスのボードゲームをして遊んだ。ルールが分からなかったが、分かりやすく英語で教えてくれたため楽しむことができ、英語を実践的に使う場にもなった。また、卓球をした際には、現地の学生とペアになり、点を取ったときの喜びや英語でコミュニケーションを自然にとる楽しさを味わうことができた。
滞在先・現地での生活に関すること

ホームステイ中の食事については、朝は自分たちで適当に家にあるもの(シリアルやパン)を食べさせてもらい、昼は自分たちで購入したものを食べ、夜は家族そろってホストファミリーが作ってくれた夕食をいただいた。寮での生活と違って、朝と夜は家のご飯を食べることで、規則正しい食生活になる上、ホストファミリーとの食事での会話を通じて英語を使うことが格段と増えるので、とても良い機会になった。現地では、治安は日本と変わらないくらい良いと感じた。夏は夜の8時でも明るいため、1人で歩いていても問題はないと思うが、なるべく6時にはかえって家族と一緒に夕食をとるようにしていた。朝はバスを使用していたが、夏休み中だったため、いつも座ることができた。日本のバスとは違い、降りる駅のアナウンスがないことにはかなり苦労したが、慣れると問題なく乗り降りすることができた。シェフィールドは坂道が多く、丘の真ん中あたりに家があり、バス停は丘の上だったため、毎朝坂を上り登校していた。逆に、学校があるあたりや中心地に行くにつれて下り坂になるため、勾配が急なところが多いと感じた。また、信号で青の時間が異様に短いことや車の通行が多く、あまり歩行者優先で止まってくれないことから、何回か危険な場面があった。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、留學を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がイギリス・シェフィールドでの留学プログラムを選んだ一番の理由はホームステイができることにありました。私自身、高校生の時からホームステイをしてみたいという気持ちがあり、オーストラリアに短期留学に行こうとしていたのですが、コロナ禍になり直前で行けなかったという悔しさから、今回長年の目標であったホームステイ留学に挑戦することにしました。私がずっとホームステイにこだわっていたのは、実際の生きた英語にずっと触れていたいと思っていたからです。英語はもちろん日本でも勉強することはできるけれど、1日の中で少しでも英語に触れ、英語を話す時間が増えたら、今まで気づかなかった英語に対する意識が出てくるのではないかと、また自分にどんな変化が起こるのだろうかなどといった考えが湧き、実際に自分で体験しようとして決意しました。

結果から言うと、3週間の留学は本当に実りあるものになったと言えます。留學生活について、学校とホームステイで得たことを分けてお話ししたいと思います。学校では、日本人以外にアフガニスタンやウクライナから来た人もいました。特に印象に残っているのはウクライナの人が授業に遅れてきたときにウクライナの国旗をマントのようにまとっていたことです。その人の話を聞くとその日はウクライナ独立31年の日であり、街で活動をしていたということを知りました。これを受けて、シェフィールドが市の単位で行っている#standwithukraine という取り組みがあることを知り、温かい受け入れ態勢があることを理解しました。学校での多様なバックグラウンドを持つ人との会話が自分の視野を広げてくれたと感じています。ホームステイでは、英語を聞く力、話す力が大いに伸びたと思います。最初は聞いていて分からなかったときに流してしまっていたこともあったのですが、それは内容が分かっていないことと同じで、結果的に自分の意見がないということになってしまっていると気づきました。そこからは話が分からなくなったらすぐに問う様にし、会話がそこから弾むこともありました。また、ホストマザーとの会話で気づかされたのが語学を勉強する姿勢についてです。私は勉強に対してすべて机に向かって完璧にこなしたいという考えを持っていました。また、ホームステイでかなり英語を話せるようになったと思ったらもう帰国が近づいていたため、この培った英語力が戻ってしまうのではないかと心配でした。しかし、ホストマザーに英語は日常生活でどれだけ使えるかが大事だと言われ、英語に対する姿勢が変わったように思います。身近なことを一人でぶつぶつぶやくことも英語を話すことにつながりますし、これを続けることで何より本当に会話をしたい時などにスラッと文章が出てくると思っています。ポジティブに英語と向き合う、完璧主義を捨てることを学んだ経験でした。

留学をしようか迷っている人がいたら、自分の気持ちを大切にしてほしいと思います。私はこの4月に大学に入学し、5月にこの留学プログラムを知りましたが、正直最初は大学の学業を優先したほうが良いのではないかと、まだまだ何回もチャンスはあるから今にこだわらなくても良いという気持ちもありました。しかし、高校生の時の行きたくても行くことができない状況を振り返ると、今行きたいという思いが強く一番に芽生え、親に留学に行く決断を話しました。私が今回の留学を通して強く感じたことは、留学は1人の力だけで成り立つものではないということです。留学に行くにあたって資料の準備を手伝ってくれ、資金を出してくれた両親、段階を踏んで事前説明やサポートをくださった明治大学の先生方、温かく滞在を迎え入れてくれ、私の人生を広げてくれたホストファミリー、現地の学校の先生方、一緒に学んだ学生たちなど、たくさんの人の支えがあって私の留學生活が充実したものになったことを実感しています。また、国際化サポート海外留學奨励金という形で補助していただけることに本当に感謝しています。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	夏期シェフィールド大学海外語学研修
-----	-------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	15400 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5100 円	
現地通学費	5950 円	(大学まで 50 分)
教養娯楽費	39100 円	ロンドン、ヨーク、ノッティンガムへの旅費及び施設への入場料など
被服費	4500 円	
雑費	円	
その他	8330 円	例:PCR 検査
その他	44072 円	例:お土産代
合計	122452 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ビザは必要なかったため特に困ったことはなかった。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港の外貨両替店で3万円ほど替えた その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
AMAZON で SIM カード(12G)を日本で事前購入した。しかし現地で不具合が生じたため、現地で SIM カードを再購入した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
準備してよかったもの→クレジットカード、ハンガー、大きめのバッグ、サングラス 準備したほうがよかったもの→もう一枚のクレジットカード、バスタオル

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
学校の友達に聞いたり、ホストマザーに聞いたりした。基本的にパスポートは持ち歩かず、現金も最小限、かばんは肩から掛けて、自分の前に持って歩くようにした。 犯罪には巻き込まれなかったが、町の中で盗難を目撃したため、注意していた。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

はじめに用意していたSIMカード(Three)は3日ほどで通信ができなくなる時があったため、大学においてあったSIMカード(giffgaff)を使用していた。山のほうに行ったとき、またロンドンの地下鉄では接続がよくなかったが、それ以外は問題なく使えた。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮 ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私のホームステイ先では節電と節水をお願いされました。シャワーは5分以内と言われ、結構大変でした(笑)また洗濯も1週間に一回だったので十分な衣服、特に下着を持っていくことをお勧めします。現地で買うことももちろんできますが一つずつ売っているとも限らないので、家から持って行ったほうがいいのかと思います。またハウスルールや約束事はしっかり守るべきだと今回学びました。つい友達といると時間を忘れてしまいますが、こまめな連絡は心掛けるべきだと思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容

シェフィールド大学 ELTC でのレベル別のクラス授業では TED Talk の教本を用いて、reading, listening, writing, speaking を幅広く学ぶことができました。3週間でもスピーキングレベルとリスニング力は上がったように感じられました。午後は academic English というコースでより学術的なことを学びました。こちらの午後の授業のほうが知らないことを学ぶことができ興味深かったです。

課外プログラムについて

課外プログラムはカンパセーション、ゲーム、スポーツ、ディナー会などがありましたが、私は週末のノッティンガムツアーのみに参加しました。5ポンドだけで目的地までバスで連れて行ってくれるのでとてもお得だと思います。自由時間が与えられ、各自で好きなところを観光しました。その他にもヨークツアーもありましたが、私はロンドンも行きたかったので、ツアーには参加せずにヨークは自分で計画して行きました。

滞在先・現地での生活に関すること

イギリスの公共交通機関にバスがありますが、シェフィールドでは手を挙げてバスに乗ることを示さないと止まってくれませんでした。何回かそれでバスを逃したことがあるので気を付けたほうがいいのかもかもしれません(笑)またお会計をする際はほとんどの店でクレジットカードが使えます。複数枚用意することをお勧めしたいです。治安についてですが、用心するに越したことはないですが、日本とあまり変わらない印象でした。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がこの留学先を選んだ理由として、英語を学ぶことができるから、ホームステイを経験することができるから、というものが挙げられます。ほかの人の家にお邪魔するので相応には気を使いますが、より現地の人との会話を楽しむことができました。また異国の地に行くと自分が外国人という立場になるため、違った視点から物事をみられるようになりました。例えばその国の習わしに沿ったり、ほかの人がどう思うのかよく考えたり、日本国内ではあまり気にしないことも考えるようになったのが挙げられます。また1ヶ月弱の短期留学だと時間があっという間に過ぎてしまうため、毎日がとても忙しく、同時に充実した時間を過ごすことができました。しかし私自身あと1ヶ月あれば、もっと違った経験ができたり、英語力もさらに上の段階まで向上させることができたかもしれない、とも思います。語学力を伸ばしたいけど、長期留学は嫌だなと思う方は3か月の中期留学に挑戦すると語学力向上は短期留学より期待できるかと思いました。